



Profile : ニール森・ブレットさん
—榛原在住—
(カナダ サスカチュワン州出身 /34歳)
平成28年からALT(英語指導助手)として、宇陀市に在住し、榛原中・室生中で勤務。趣味はPCゲーム

—まず、海外旅行するのに思い浮かんだのが日本だつたんですね？

—どうして日本に興味があつたの？

ブレット・日本のこと、子どもの頃からゲームやアニメで「忍者・侍の国」として知つていました。カナダではセーラームーンも大人気。僕は成長するにつれ、テレビやアニメなどを通して、和食や寺社などいろんな面で日本文化への関心がどんどん高まつきました。それで大人になつて漠然と「海外に行きたいやない」と思つたときに真つ先に浮かんだのが、一番不思議そうで面白そうな国、日本だつたのです。

—日本人の印象はどう？

日本人は親切で、とても相手のことを気遣つてくれます。まさに「おもてなし」の精神が根付いています。カナダ人も優しいですが、こちらはカジュアルでフレンドリー。ただ日本人はとてもシャイで、外国人を見ると緊張するのか、よそよそしい態度をされる時があります。例えば、私が少し日本語が話せると「日本語上手ね」と言つてくれますが、その後なかなか会話が続かないことがあります。

もっと、オーブンハートでコミュニケーションしよう♪

—日本人の印象はどう？

日本人は親切で、とても相手のことを気遣つてくれます。

—どうして日本に興味があつたの？

日本はとにかく安全で衛生的で便利。いくら都市部でも、カナダやアメリカなど他の国と比べても断然安全。銃や強盗の危険も少ないです。ごみも多少のポイ捨てはあるものの、大量のごみが放置されたままという事はありません。皆さん宇陀が不便と言つて、近くにコンビニやスーパーも問題なく使えます。何よ

—日本のどこがいいと思う？

宇陀市つてどう？

日本はとにかく安全で衛生的で便利。いくら都市部でも、カナダやアメリカなど他の国と比べても断然安全。銃や強盗の危険も少ないです。ごみも多少のポイ捨てはあるものの、大量のごみが放置されたままという事はありません。皆さん宇陀が不便と言つて、近くにコンビニやスーパーも問題なく使えます。何よ

—日本人の印象はどう？

日本人は親切で、とても相手のことを気遣つてくれます。まさに「おもてなし」の精神が根付いています。カナダ人も優しいですが、こちらはカジュアルでフレンドリー。ただ日本人はとてもシャイで、外国人を見ると緊張するのか、よそよそしい態度をされる時があります。例えば、私が少し日本語が話せると「日本語上手ね」と言つてくれますが、その後なかなか会話が続かないことがあります。

—やはり英語は大事？

日本人は他の国に比べ英語が苦手な方がとても多いと思います。将来、より日本での英語教育が進めば、もっと外国人とコミュニケーションを取ることができます。例えば、私が少し日本語が話せると「日本語上手ね」と言つてくれますが、その後なかなか会話が続かないことがあります。

—最近、インバウンド(外国人観光客)ブームですが…

近年、外国人による様々なトラブルが増えているようですが、外国人の中には、観光客と思われたくない人もいます。それほど外国人に対するマイナスイメージを懸念しているのです。自分たちは「日本を理解していく、日本を愛していく」という人も多いのです。やはり外国人の方には、事前にもつと日本のこと、ルルやマナー、日本人の美德を知つておいてもらいたいです。そうすると日本の方に迷惑をかけないし、またより日本人と仲良くなつて、お互いにとつていい関係を築けるのではと思うのです。

—お互いオーブンハート、オーブンマインドで

—日本人は他の国に比べ英語が苦手な方がとても多いと思います。将来、より日本での英語教育が進めば、もっと外国人とコミュニケーションを取ることができます。例えば、私が少し日本語が話せると「日本語上手ね」と言つてくれますが、その後なかなか会話が続かないことがあります。

※サテライトオフィスとは、企業の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。インターネットを利用してことで、離れていても情報の伝達が容易にできるため、地方で仕事や新しい働き方を生み出すことが期待されます。

Why Here! ? なぜ、宇陀に？

以前の WCI で宇陀滞在中にカップルになった二人が新婚旅行で、宇陀市に里帰り！「二人にとって宇陀市は大事なふるさと」とのこと



ZAZEN (坐禅) って
クールだね。すばらしいよ。



会のグローバル化が進む今日、私たちは普段の生活の中で外国人を見かけることが、昔と比べてずいぶん多くなりました。例えば、観光地に行けば、日本人より外国人の方が多いと思う時もあるぐらい。

グローバル化(グローバリゼーション)とは、情報通信技術の進展や交通手段の発達、また市場の国際的な開放などにより、社会的・経済的に国境の壁を越えて世界規模で結びつきが深まることがあります。

今回は特集として、市内に転入された外国人の方を紹介します。彼らの視点を通して、「世界の人からみた宇陀」ってどんなところか、少し聞いてみませんか？

7月には室生国際交流村による WCI の国際交流事業があり、今年は 10 か国 32 人の外国人青年が市内で 1 週間滞在しました

Meri-Melo
室生

シャボールさん夫婦が、室生下田口に転入されて約5年。この3月には古民家を改装してフランスの家庭料理ガレット&クレープのカフェを開店。多くの方々とネットワークを築きながら、田舎暮らしの魅力を発信されています。ここに永住を決めた理由は、人の温かさだと・・・

私たち、ハーモニー(調和)の中で生活することを学びました

— ここでの生活はどう? —

ここの方はみんなオープンで、いつもいろいろ気にかけてくれます。例えば、野菜をくれたり、台風の時に心配してもらったり。私もできるだけ日本語で話そうとしますし、地域の作業にも出ています。今は、近所の方のお手伝いをいただきながら自治会の班長もしているんですよ。

何より、子どもたちが私たち以上に地域の一員として溶け込んでいます。

ハーモニーのある暮らし

— この地域の魅力は何だと思います?

おそらく市街地とこのような田舎とは違うでしょうが、やはり観光地ではない日本古来の自然やライフスタイル、原風景が田舎にあるし、人々の暮らしの中にも残されています。生活を始めると、いろんな出来事や困りごとが起こります。最初、私は自治会や、「近所に挨拶に行く」の意味が分かりませんでしたが、今になって初めて、コミュニケーションの大切さ、地域との繋がりが大事だとわかりました。フランス人は個人主義ですが、日本人は自分よりもまず全体、コミュニケーションを大事に考えます。それが、この地域では特に感じますし、田舎の魅力だと思います。

現代はストレス社会で人々はゆったりした時間を過ごすことを求めています。そして今はインターネットがあればどこでも仕事ができる時代です。宇陀は、提供いただける空き家があれば、サテライトオフィスとしても、日本人は自分よりもまず全体、コミュニケーションを大事に考えます。それが、この地域では特に感じますし、田舎の魅力だと思います。

—なぜ宇陀市を選んだの?

シルバン…私たちが出会ったのは約10年前、オーストラリアの経営農場でした。あの頃は、お互い住み込みやワーキングホリデーで、行く先々で働きながら放浪の旅を楽しんでいました。それまで、私はフランスで保険会社に勤務し、妻は日本で看護師をしていました。

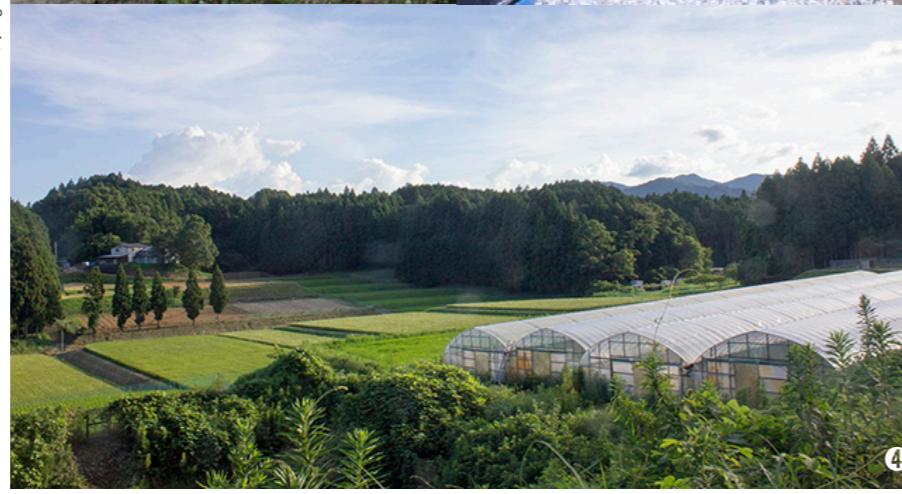
私は、以前から自然の中での生活に憧れがありましたが、まさか日本に住むなんて思つてもなかつた(笑)でも妻が日本人だったので日本に来る決意をしました。フランス人の友達からも「勇気ある決断」って思われているかも(笑)宇陀市を知ったのはSNSで、初めてここに訪れたのは9月頃。稲穂が黄金色に輝いて空気も心地よかつたのが印象的で「絶対ここで住みたい」と思いました。そして、いろんな人の縁のおかげで今の家に辿り着きました。



Profile : スティーブ・ハヌマンさん
—棟原在住—
(アメリカ ウエストバージニア州出身/58歳)
高橋裕美子さん(山口県出身) : 写真右
- 洋さん(山口県出身) : 写真中

ミュージシャンとして約16年間日本で滞在。今年4月棟原に移住し、念願の田舎暮らしをスタート

- ①スティーブさんの職業は、プロのミュージシャン。各地での演奏をはじめ、プロデューサーも務められます。
- ②これからの家族の楽しみは菜園づくり。今までの人生にはない初めてのチャレンジで、とてもエキサイティングとのこと。
- ③敷地内にはドッグランを作りました。愛犬もとてもお気に入りの様子。
- ④自宅前に広がるご自慢の農村風景。本当に空気と景色がごちそう。心豊かな時間を過ごせていると喜ばれています。



Steve
Hanuman.
com

家族は、スティーブさん、裕美子さん、お母さんの洋さんと2匹のボーダーコリー。畑、山林付きの空き家を購入し、家を新築されました。草刈りする、散歩する、自然の音や光とともに寝起きするなど、都会とは全然違う生活に「長生きできそう！」と喜んでおられます♪

本当に不便?いや素敵ですよ! ここでの生活にトライしてみて!

—いじじの生活はいか?

都会から帰ってきたとき、本当にほっとしますね。カエルの声や野鳥の声、朝日や夕日、周辺のロケーション全てが他に代えがたいものです。

みんなは「宇陀どこ?遠いよ」と言っていますが、大阪までたった1時間ですよ。他の地域に住んでも大阪まで1時間はかかるでしょ? それなりにこんなに空気がきれいで、自分で野菜を作ることまでできるんです。

—最近、都市部以外でも外国人の方をよく見かけるようになりました

祖国にいるときは、「日本のイメージ東京など都会のイメージ」でした。でも田畠の緑や川や山々といった

素朴な自然の美しさを知り、感動するようになりました。他の外国人も同じで、SNSなどで日本のいろんな魅力を知り、気に入ったようですね。人がたくさん集まつてくるといろんな異文化がミックスされます。もちろん交流も大切です。でも、私は日本の文化やいいところは、ネバーチエンジであってほしい。日本の文化や美德はナンバーワンです。だからみんなにもリスペクトしてもらいたいし、守り続けてもらいたいです。

**Help Uda grow.
Become happy, too.**

—これから宇陀での生活で困つてはありますか?

私たちにとって、ここには夢があります。地域の方と作業をしたり、初めてのことばかり。この素晴らしい環境や景観を脈々と受け継がれてきた地域の方の勤勉さとご努力を尊敬します。そして、これまで祖先から暮らすこの地域に私たちを快く受け入れていただきたことにも感謝しています。今、どの地域でも人口が減つていていると聞きます。特に若い人には、少し意識改革して、故郷に住み続け、環境を守り続けてもらいたいです。

宇陀は、都市からも遠くありません。美味しいお店やコンビニもあります。心身ともに健康的で、とてもバランスの良いところです。ぜひ、故郷での生活にトライしてほしいです。

—なぜ宇陀市を選んだの?

スティーブ・日頃から都会の喧騒の中に入ると、どうしてもストレスが溜まるし、ゆったりとした時間が過ごしたかったんです。この場所は偶然インターネットで見つけたのですが、初めて来た時、景観の美しさに感動しました。

定期的に草刈りされ、農地は緑の絨毯のよう、水路にはせせらぎが流れています。ここにはアメリカやカナダのような手付かずの広大な自然とは異なる美しさがあります。日常の営みと一緒に日本ならではのものです。

自然と共生するライフスタイルがすばらしい